

日本語が 使えるようになる 授業をしよう

13 : 30 ~ 16 : 30



令和1年10月24日
仁子（にご）真裕美

今日のセミナーの目的と内容

【目的】

どうしたら日本語が使えるようになるのか
その教え方を身に付ける

【内容】

1. 教授法の変遷
2. 言語学と心理学と教授法
3. 第三の道への模索
4. 最新の教え方を活用しよう
5. 最新授業方法解説

休憩
アンケート
懇親会

外国語学習に成功する学習者の特徴

Q.外国語学習に成功する学習者とは？

外国語学習に成功する学習者の特徴

Q.外国語学習に成功する学習者とは？

- (1) 若い
- (2) 母語が学習対象言語に似ている
- (3) 外国語学習適性が高い
- (4) 動機付けが強い
- (5) 学習法が効果的である

Q.教師が手伝えるのは？

外国語学習に成功する学習者の特徴

Q.教師が手伝えるのは？

- (1) 若い
- (2) 母語が学習対象言語に似ている
- (3) 外国語学習適性が高い
- (4) 動機付けが強い
- (5) 学習法が効果的である

効果的な学習法

Q.どんな学習法が効果的なのか？

効果的な学習法

Q.どんな学習法が効果的なのか？

- (1) 言語の本質に合った学習法
- (2) 個々の学習者に合った学習法
- (3) 言語習得の本質に合った学習法

Q. 言語の本質に合った学習法とは？

効果的な学習法

Q.言語の本質に合った学習法とは？

例) 日本語 VS 英語

Q.同じ教え方でいいのか？

効果的な学習法

Q. 個々の学習者に合った学習法とは？

- (1) 言語の本質に合った学習法
- (2) 個々の学習者に合った学習法
- (3) 言語習得の本質に合った学習法

効果的な学習法

Q.個々の学習者に合った学習法とは？

個人なのか、クラスなのか
学生なのか、ビジネスマンなのか、
年齢は？

* 学習者に合わせる

効果的な学習法

- (1) 言語の本質に合った学習法
- (2) 個々の学習者に合った学習法
- (3) 言語習得の本質に合った学習法

Q. 絶対的な教え方はあるのか？

効果的な学習法

Q. 絶対的な教え方はあるのか？

教え方に「絶対的なもの」はない。
今の自分に取り入れられるものを見つけ
自分の授業に活用していこう。

Q. 授業の主役は誰？

授業の振り返り

Q.テキストは？

Q.どう授業を進めている？

Q.教授法を参考にしている？

Q.どんな練習が多い？

Q.どんな授業がしたい？

教授法の変遷

Q. 教授法のイメージは？

Q. どんな教授法を知っているか？

Q. どうして教授法を学ぶのか？

教授法の変遷

Q. どうして教授法を学ぶのか？

A. 教授法のいい点、悪い点を知る

A. いい点を自分の授業に活用しよう

A. 悪い点を踏襲しない

Q. 教授法の変遷

教授法の変遷

(文法訳読法)

オーディオリンガル



コミュニカティブアプローチ



第三の教授法

「みんなの日本語」

Q.どんな教授法をベースにしてできた本？

「みんなの日本語」第8課

- 文型 1. 桜はきれいです。
2. 富士山は高いです。

- 例文 1. 大阪はにぎやかですか。
.....はい、にぎやかです。
2. さくら大学は有名ですか。
.....いいえ、有名じゃありません。
3. 北京は今寒いですか。
.....はい、とても寒いです。
上海も寒いですか。
.....いいえ、あまり寒くありません。

「みんなの日本語」

1. 語彙（翻訳・文法解説）

2. 練習A→練習B→練習C

* 文の形がしっかり身につくまで練習

3. まとめ（文型・例文）

4. 会話

* 反復、代入、拡張、変形、応答練習などの
機械的ドリル

オーディオリングル

Q.世界中に広まった理由は？

オーディオリンガル

Q.世界中に広まった理由は？

→構造主義言語学・行動主義心理学
に基づいた科学的な教授法

→科学的に考えられた初めての教授法

→練習に理論的根拠がある

オーディオリンガル

- オーディオリンガルの基本的考え方

言語には一定のパターンがある

パターン練習を繰り返せば言語は習得できる

例) How are you?

オーディオリンガル

- オーディオリンガルの基本的考え方

パターン練習を繰り返せば言語は習得できる

How are you?

→I'm fine. Thank you. And you?

オーディオリングル

- 教え方の柱は3つ

Q. 1つ目は？

Q. 2つ目は？

Q. 3つ目は？

オーディオリンガル

- 教え方の柱は3つ
 1. 反復練習
 2. 対照分析
 3. 音声の重視

オーディオリングル

Q.対照分析とは？

オーディオリンガル

Q.対照分析とは？

A.母語と目標言語、二つの言語を比べる

Q.どうして？

オーディオリンガル

Q.対照分析とは？

母語と目標言語、二つの言語を比べる

学習者の誤用は
母語と目標言語の違いによる

3.音声重視

オーディオリンガル

Q.弱点の露呈、その弱点とは？

1.反復練習：話せるようになったか？

2.対照分析（誤用の予測）：当たったか？

3.正確さを求める音声練習：ミニマルペア

オーディオリンガル

(例) 正確な発音のための練習

ミニマルペア

- ・ あめ、かめ、さめ、まめ、らめ
- ・ かれき、がれき
- ・ あめ (雨・飴) ・ はし (橋・端)

Q. できるようになったか？

オーディオリンガル

Q.弱点の露呈、その弱点とは？

1. 反復練習：話せるようにならない
2. 対照分析：誤用の予測が当たらない
3. 音声練習：ネイティブと同じ発音はできない

オーディオリンガル（8課・練習B-2）

1. 反復練習：話せるようにならない

Q. どうして？

(例) 山田さん・元気→山田さんは元気じゃありません

1. イーさん・暇→

2. ワンさんの部屋・きれい→

オーディオリンガル

1. 反復練習：話せるようにならない

Q. どうして？

→ 文脈から切り離された機械的ドリル

→ 文型は会話ではない

→ 意味がわからなくてもできる形式だけの練習

2.対照分析：

学習者が間違える場所の予測が当たらない

Q.どうして予測が当たらないのか？

オーディオリングル

Q.人は自信のない表現を使うのか？

オーディオリンガル

2. 正確な発音：できるようにならない

Q. どうして？

東京・東京大学

野球・プロ野球

大阪・新大阪

オーディオリングルの教え方

(AIとオーディオリングル相性がいい)

Q.何がダメだったのか？

Q.人はどんな時に話すのか？

オーディオリンガルの教え方

Q.何がダメだったのか？

学習者不在

文型中心（会話ではない）

文脈から切り離された文型練習

自然なコミュニケーションの中では使えない

オーディオリンガルの教え方

Q. 全くダメなのか？

Q. どう変えるのか？

1. 機械的な反復練習
2. 対照（間違えの）分析
3. 正確な発音

Q. どうして最初から「正確な発音」を
目指してはいけないのかのか？

教授法の変遷

オーディオリンガル



コミュニカティブ

文型中心

(文型を積み上げる)

機械・繰り返す練習

形式的アウトプット

正確さ重視

教授法の変遷

オーディオリンガル



コミュニカティブ

文型中心
(文型を積み上げる)

会話中心

機械・繰り返す練習

自然・一回的会話

形式的アウトプット

自然なアウトプット

正確さ重視

正確さを求めない

教授法の変遷

オーディオリンガル



コミュニカティブアプローチ



第三の教授法

} いい点を取り入れる

Q.言語学とは？

言語学

言語学とは：二つの言語を比べる
研究対象は言語

言語を学び、使うのは：

Q.言語学に何を+したらいいのか？

Q.人を研究対象としている学問は？

Q. 人を研究対象としている学問は？

心理学

Q. 対象の違いによる
研究方法、結果の違いとは？

言語学と心理学

研究対象

言語学：言語



白黒はっきり

心理学：人間



？

Q.心理学はどんなアプローチ方法をとるのか？

心理学

心理学のアプローチ方法

- 膨大な実証実験
- 仮説検証を繰り返し
データを積み上げていく
- その中から効果があると検証されたものを
発表する

心理学の弱点：個人差

Q. 発達心理学とは？

心理学

発達心理学

→生まれてから死ぬまで

発達心理学の中の言語の分野
Q.何を研究している学問か？

発達心理学の中の言語の分野

→母語の習得

Q. 第一言語の習得方法がわかっているなら、
それを第二言語習得に応用できないのか？

Q. どうしたら第二言語を使えるようになるのか？

→ 母語の習得と第二言語習得を比較し
共通点、相違点を研究する

心理学

母語の習得

母親と赤ちゃんの観察

Q.何が起きているのか？

母親と赤ちゃんの観察

Q.何が起きているのか？

→大量のインプット

Q.インプットって何？

Q.人は何歳くらいで話せるようになる？

Q.人は何歳くらいで話せるようになる？

→ 4 歳

Q.ということとは？

Q. どうして4年もかかるのか？

Q. 赤ちゃんと大人の違いは？

Q.赤ちゃんと大人の違いは？

→赤ちゃんは脳も体も未発達

Q.ということは？

赤ちゃんと大人の違い

→赤ちゃんは脳も体も未発達

Q.話せるようになるには身体的に何が必要か？

赤ちゃんは脳も体も未発達

Q.話せるようになるには身体的に何が必要か？

→記憶力、理解力

→喉、腹部、胸部の筋肉

立ってから話せるようになるのは
偶然の一致ではない 発音

母子の観察

Q. 母親は子供とどのように話しているか？

①

②

③

④

母親は子供とどのように話しているか

- ① 質問
- ② 繰り返し
- ③ 話題
- ④ ペーシング

母親は子供とどのように話しているか

- ① 質問
- ② 繰り返し
- ③ Q.どんな話題？
- ④ Q.ペーシングとは？

母親は子供とどのように話しているか

- ① 質問
- ② 繰り返し
- ③ どんな話題 → 子供にとって身近な話題
子供が興味を持っている話題
- ④ Q. ペーシングとは？

母子の観察

Q. 母親はどう子供と接しているか？

- ① 質問
- ② 繰り返し
- ③ どんな話題
- ④ ペーシング→子供にすべてを合わせる
せかさない、肯定的態度

心理学

母子の会話

Q.言語習得に何が一番大切か？

- ① 質問
- ② 繰り返し
- ③ 話題
- ④ ペーシング

どんな接し方がいいのか？

心理学

母子の会話

Q.言語習得に何が一番大切か？

相互交流・相互対話

Q.言語の発達には
どうして相互交流が大切なのか？

心理学

母子の会話→相互交流

Q. 言語の発達に相互交流が
どうして大切だとわかったか？

→TV視聴の長い家庭

研究

Q.TV視聴の長い家庭の子供は
どうして言葉の発達が遅れるのか？

Q. TV視聴の長い家庭の子供は
どうして、言葉の発達が遅れるのか？

→フィードバックがない

→相互交流がない（一方向）

Q.相互交流やフィードバックが
どうして必要か？

Q.相互交流やフィードバックがどうして必要か？

→子供は十全な言葉を持っていない
適宜大人が補う必要がある

→間違いの訂正

→社会言語学的能力

→社会的状況（対人関係や場面）に応じて、
適切な表現が使用できる

Q.イマージョン教育とは？
(算数・理科・歴史・・・)

イメージ教育 明と暗？

イマージョン教育

明→聞く力、理解する力

(母語話者とそん色がない)

イメージ教育

暗→正確性、社会言語学的能力

Q.TV視聴とイメージ教育
共通点は？

Q.TV視聴とイマージョン教育
共通点は？

→ フィードバックがない
相互対話がない
間違いの訂正がない
常に教師対学生

Q.対話とは？

Q.言語能力が発達する対話とは？

- 対話方法をお母さんから学ぼう！

意味交渉・会話例 絵本

母：（絵本を広げて）あゆちゃん、これなあに？

子：（じっと絵本を見ている）

母：（絵本のウサギを指して）これなあに？

子：（ ）

母：これ、ウサギさんね。

子：（うなづく）

母：ウサギさん。ウサギさんのこれ、（目を指す）
これ、何だろう？何かな？

母：（ウサギの目を指して）これ、なあに？

子：（自分の目を指す）

母：そうね。お目目ね。これ、なあに？赤いの？

子：おめめ（触って）

意味交渉

母子の対話

①

②

③

④

見事な < _____ > が成立している

母子の対話

- ① 質問
- ② 繰り返し
- ③ 話題
- ④ ペーシング

相手の理解を引き出す相互対話をしている

意味交渉

Q.意味交渉とは？

会話の中で
互いの発話意図がわからないとき、
お互いが理解しあえるまで、
聞き返したり、意味の確認をしたりしている

Q.語彙説明をしているか？

Q. 語彙説明をしているか？

一方的な語彙説明はしていない。

意味交渉

Q. 母親はどうして
一方的な語彙説明をしないのか。

意味交渉

A. 母親は子供の方から言葉を
引き出そうとしている

Q. 無意識でおこなっているのか？

意味交渉

A. 母親は子供の方から言葉を
引き出そうとしている

→ 母親は子供の反応を見て、
話し方を決めている。

Q. 赤ちゃんはどんな言葉に反応するのか？

対話？ 指示？

意味交渉

Q.赤ちゃんの反応とは？

一方的な指摘や説明には反応が薄い

「これは何かなあ」「ほんとうかなあ」

「これでいいのかなあ」……………

子供に考えさせる、問いかける話し方に
敏感で、よく反応する

意味交渉

赤ちゃんは

考えさせる、問いかける話し方によ反応する
人は考える葦

Q.教師の基本スタンスは？

- 教師の基本スタンス

一方的な説明は効果がない

常に学生に問いかけ、考えさせる

休憩

休 憩

インプットとアウトプット

Q.インプットとは？

Q.アウトプットとは？

インプットとアウトプット

インプット：言語習得のかなめ

非常に効果のある大量のインプット教授法
(全身反応教授法・TPR)

デメリット→

インプット研究の集大成

インプットとアウトプット

インプット仮説 ($i + 1$)

↑
学習者の現在のレベル i

Q. ($i + 1$) とは？

インプットとアウトプット

インプット仮説 ($i + 1$)

↑
学習者の現在のレベル i

ほんの少し上回るレベルのインプットを受けると、第二言語は習得される

理解可能なインプットの重要性

インプットとアウトプット

理解可能なインプットの重要性

スピードラーニングの理論的根拠

脳科学でもインプット仮説は証明された。
($i + 1$) は 脳の記憶を強化する

インプットとアウトプット

理解可能なインプットの重要性

Q. 教師の気を付ける点は？
(特に初級)

インプットとアウトプット

理解可能なインプットの重要性

Q.初級教師の気を付ける点は？

語彙コントロール

インプットとアウトプット

言語習得にはインプットだけでは足りない

Q. どうしてわかったのか？

理解可能なインプットの重要性
(イマージョン教育)

受容バイリンガル

インプットとアウトプット

Q. どうしてインプットだけではだめなのか？

理解力は母語話者とそんな色ない

正確性に欠ける

社会言語学的能力が育たない

→社会的状況（対人関係や場面）に応じて、適切な表現が使用できる

インプットとアウトプット

Q. アウトプットから得られることは？

Q. 「言いたいこと」＝「言えること」か？

インプットとアウトプット

アウトプットから得られること

例) 外国人旅行者から片言の日本語で
道を尋ねられる。(英語で答えてほしい)

Q.まず、何をする？

インプットとアウトプット

アウトプットから得られること

例) 外国人旅行者から片言の日本語で
道を尋ねられる (英語で答えてほしい)

Q. まず、何をする → 何を言っているのか
意味を聞き取る

Q. この時に文法に注意が向くか？

Q. 次に、何をする？

インプットとアウトプット

アウトプットから得られること

Q.まず、何をする→何を言っているのか
意味を聞き取る

Q.次に、何をする→英語で答えようとする

↑

Q.この時の頭の中は？

インプットとアウトプット

Q.アウトプットから得られることは？

英語で答えようとする

↑

Q.この時の頭の中は？

語順は？ 動詞は？ 前置詞は？・・・

インプットとアウトプット

Q.アウトプットから得られることは？

「言いたいこと」があるのに、「言えない」
そのギャップの「気づき」が大切。

Q.アウトプットから新しいことは得られるのか？

インプットとアウトプット

Q. アウトプットから新しいことは得られるのか？

アウトプットからは新しいことは何も得られない。

インプットで意味に注意が向き、
アウトプットで形・文法に注意が向く

インプットとアウトプット

Q.アウトプット重視は効果的か？

Q.コミュニカティブアプローチの弱点とは？

コミュニカティブ

コミュニカティブ

会話中心

自然・一回的会話

アウトプット重視

正確さを求めない

コミュニカティブ

会話中心
自然・一回的会話

自然な会話とは
個別的、具体的、一回的



応用がきかない

アウトプット重視
正確さを求めない

文型積み上げではないため、
どう上手になっているのか、わからない
という学習者の声

コミュニカティブ

コミュニカティブアプローチの限界

初級は難しい

ただ、たくさんしゃべるだけでは
上手にならない

「上達する」と「流ちょうになる」は違う

「流ちょうになる」：上達が止まる可能性
(錯覚)

第三の道

Q.人はどう言葉を身に付けるのか？

→大量のインプット

Q.なぜインプットだけで言語の習得が起こるのか？

第三の道

Q.人はどう言葉を身に付けるのか？

→大量のインプット

Q.なぜインプットだけで言語の習得が起こるのか？

→触れたインプットから

パターンを抽出できる能力がある

第三の道

パターンを抽出する能力

- ・ひらがな・カタカナ・漢字

→

- ・野菜を知っている

→モロヘイヤ

- ・「わんわんだ」「わんわんかしら？」「わんわんみたい」

→

第三の道

パターンを抽出する能力

- ・ひらがな・カタカナ・漢字

 - ゆがんだ字でも識別可能

- ・野菜を知っている

 - 初めてモロヘイヤを見ても野菜に分類できる

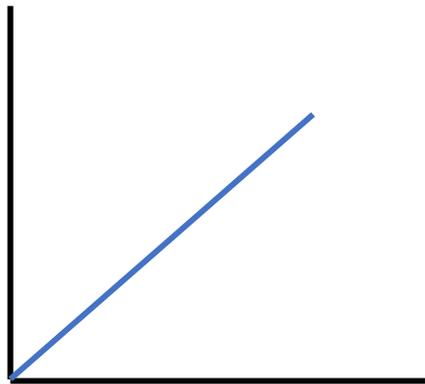
- ・「わんわんだ」「わんわんかしら？」「わんわんみたい」

 - わんわんという音を識別できる

グラフ

Q. 言語はどう上手になっていくか？

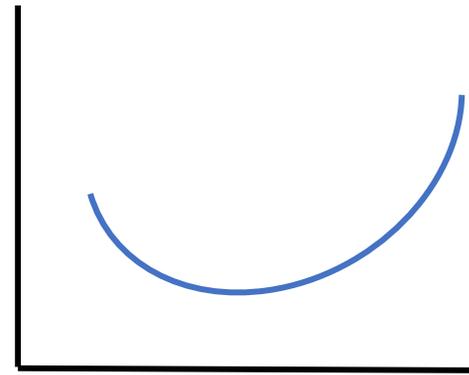
A



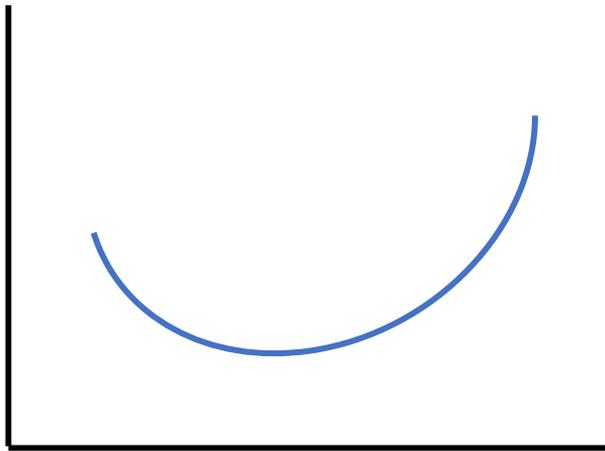
B



C



U字型発達曲線



U字型発達曲線

Q. 言語はどう上手になっていくか？

- 例) ① go
② went
③ 過去形 動詞+ed
④ go**ed**
⑤ went

第二言語習得

人はどう第二言語を習得するのか

第二言語 → 中間言語 → 第二言語
学習開始 (完成形)

「中間言語」は修正されながら、じょじょに
目標言語体系に近づいていく

第二言語習得

人はどう言語を習得するのか

「大量のインプット」



「中間言語」



アウトプット

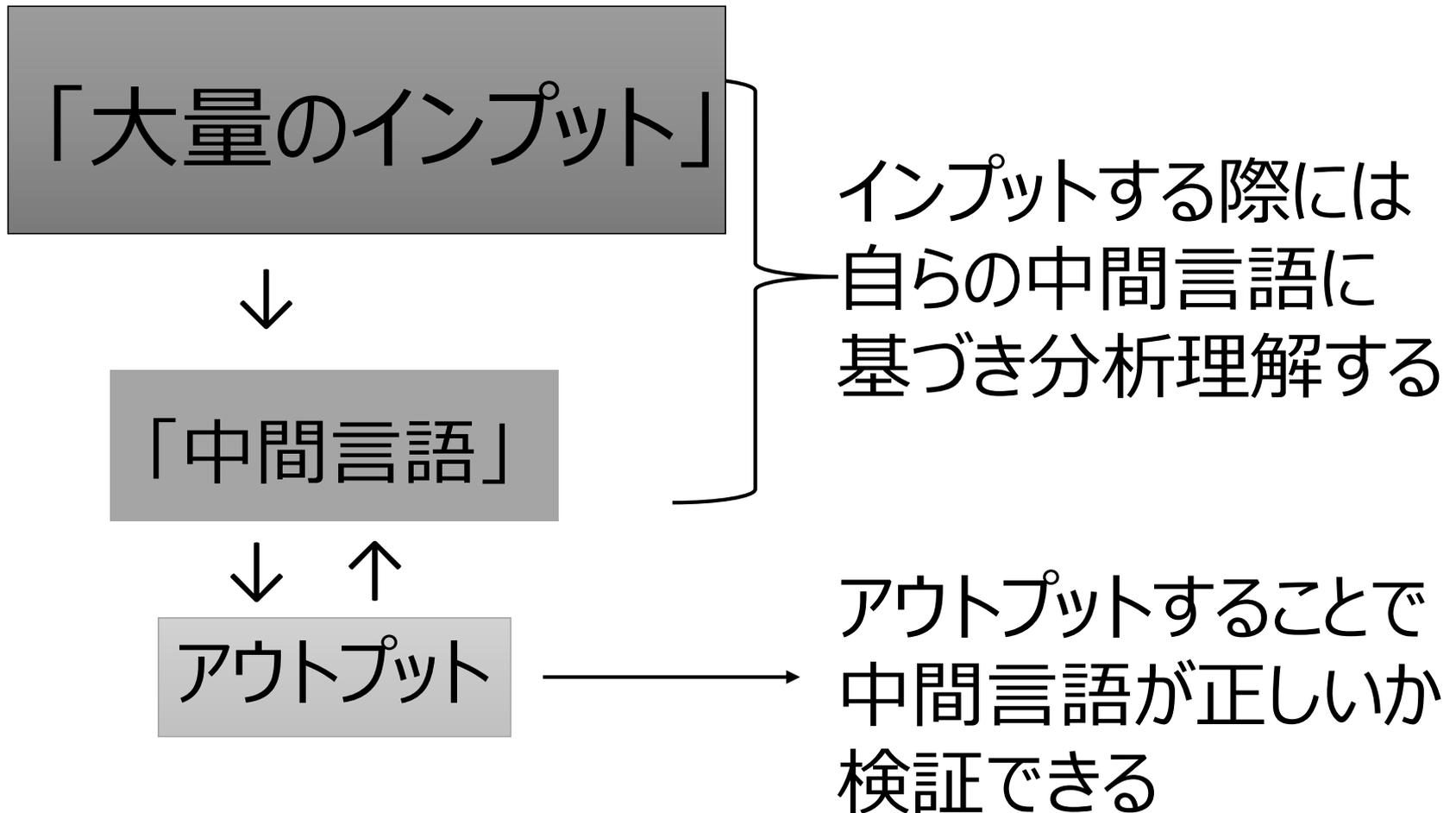
→ 新しいこと・直感力が身に付く
(予測文法)

予測文法

きのう北海道から成田まで、
JALで…………

第二言語習得

人はどう言語を習得するのか



第二言語習得

人はどう言語を習得するのか

「大量のインプット」



「中間言語」



アウトプット

アウトプット重視
の問題点

第二言語習得

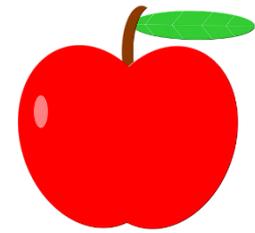
Q.母語は第二言語習得の邪魔者か？

第二言語習得

母語の知識は外国語学習を助けている

(英語) a Red apple

(仏語) une Pomme rouge



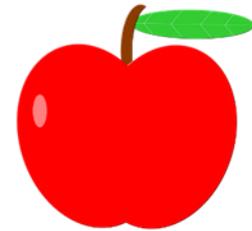
Q. Redやrougeの役割は何か？

第二言語習得

母語の知識が外国語学習を助けている

(英語) a Red apple

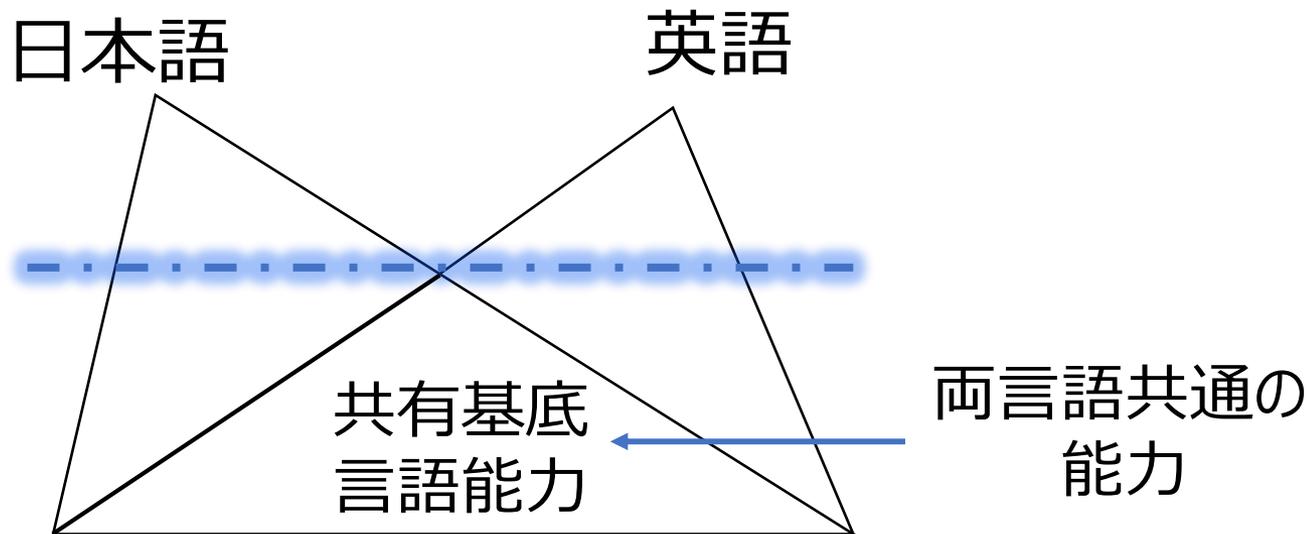
(仏語) une Pomme rouge



Redやrougeが
どんなリンゴなのかを示しているとわかっている

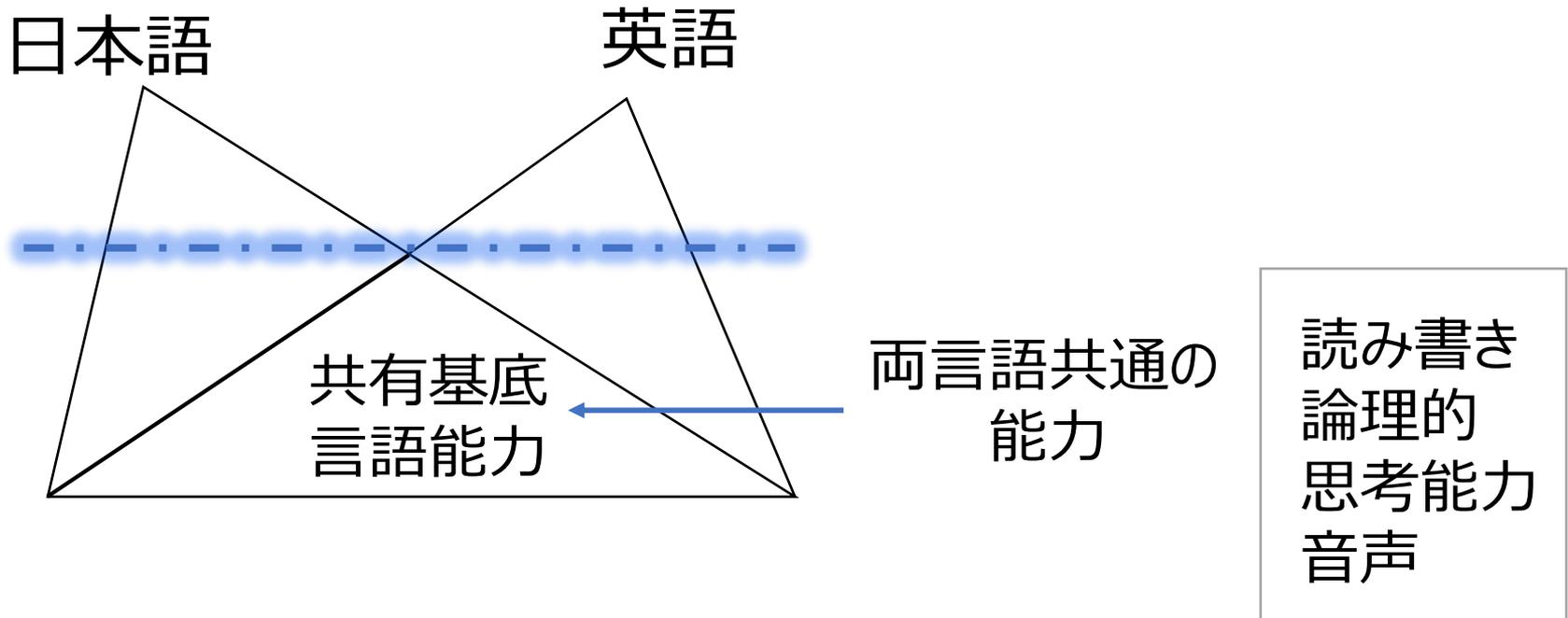
第二言語習得（二山氷山理論）

Q.人はどう第二言語を習得するのか？



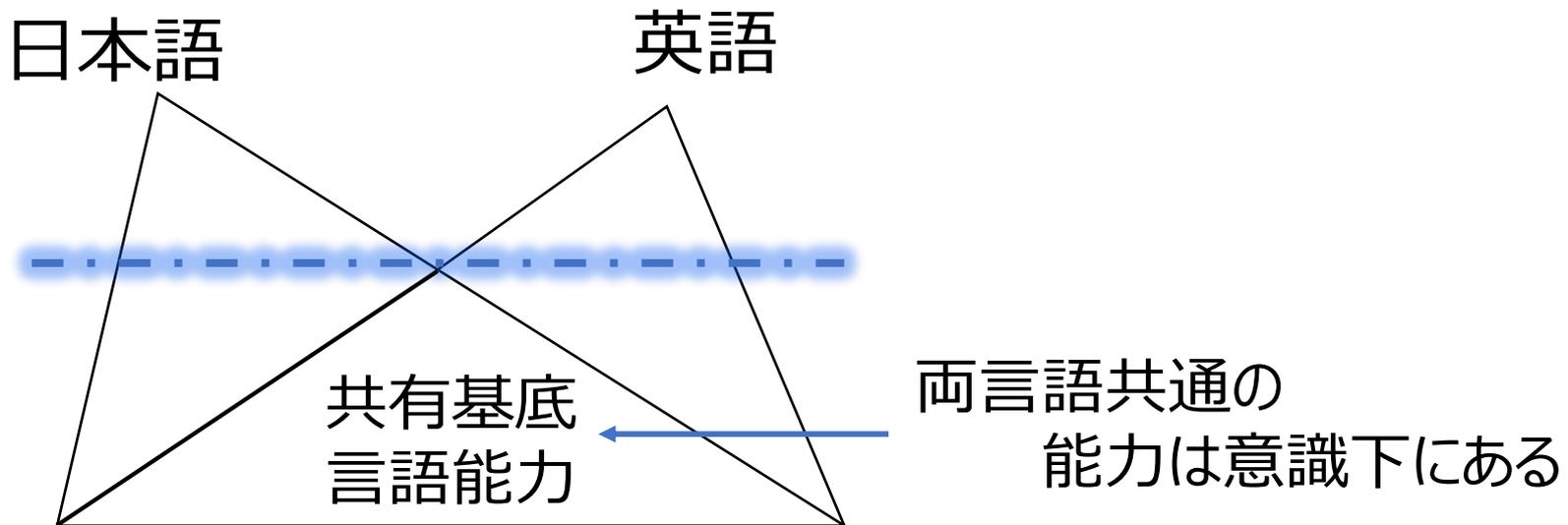
第二言語習得（二山氷山理論）

Q.人はどう第二言語を習得するのか？



第二言語習得（二山氷山理論）

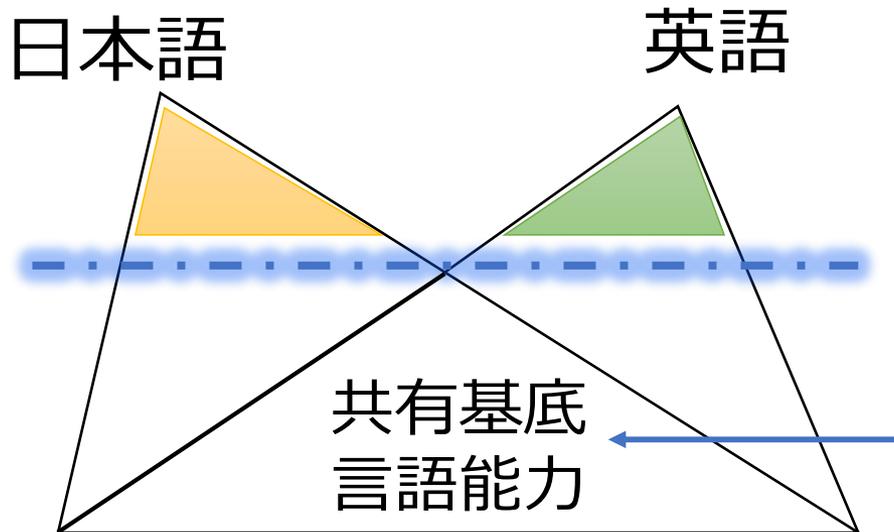
意識の上で、日本語英語を対照すると全く違う



第二言語習得（二山氷山理論）

意識の上で、日本語英語を対照すると全く違う

ここで違いを考えても
意味がない



両言語共通の
能力は意識下にある

第二言語習得

Q. 文法を教えることが
話せるようになることを助けているのか？

文法

Q. 文法を教えることが
話せるようになることを助けているのか？

英語の授業：三単現のS

Q. どんな授業を受けた？

①文法説明

主語が三人称、単数で現在のときには
動詞にsをつける

②次は？

Q. 文法を教えることが
話せるようになることを助けているのか？

英語の授業：三単現のS

① 文法説明

② 「s」をつけるドリル練習

Q. 自然な会話の中で使えるようになるか？

Q. 自然な会話の中で使えるようになるか？

英語の授業：三単現のS

ルールとしては簡単に頭で理解できても
使えるようにはならない

Q. どうして使えるようにならないのか？

文法

文脈から切り離された、形式だけの練習では
使えるようにはならない

習ったときと似た環境時には思い出せる

Q.何に役立っているのか？

文法

Q.文法の授業は何に効果があるのか？

知識としての文法能力をつける

Q.何に役立っているのか？

テストの得点は上がる

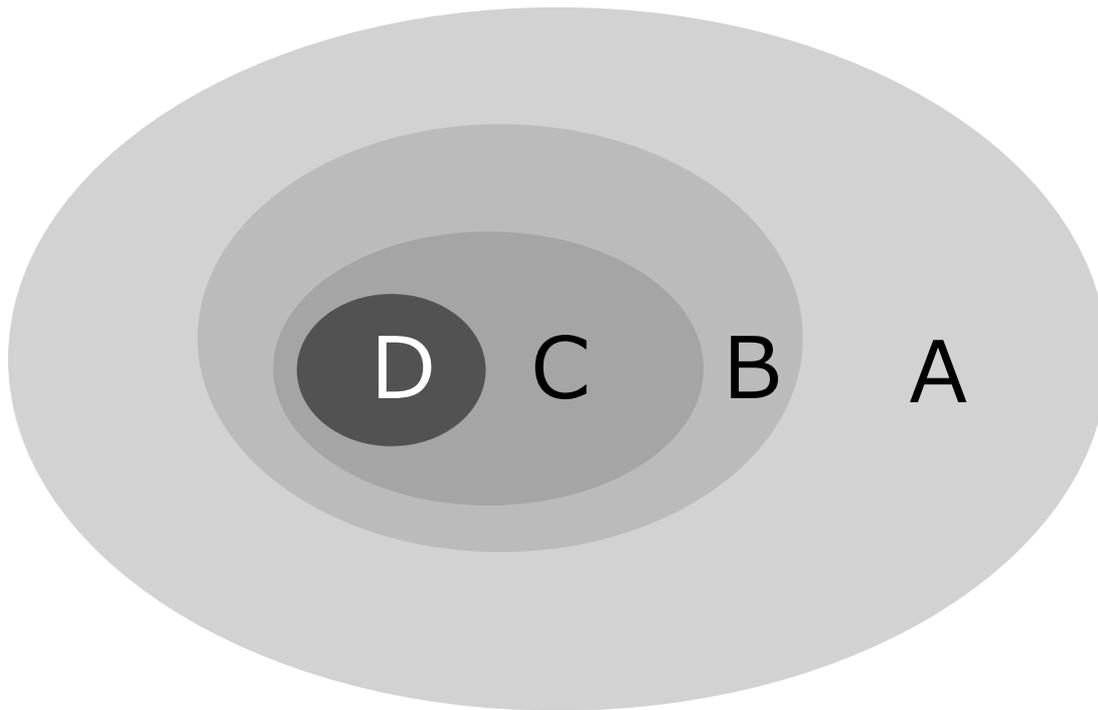
- 文法知識をつけることが指導の中心では
言語の習得は起こらない。

明示的文法教育の限界

Q. 文法をすべて教えることはできるのか？

明示的文法教育の限界

全ての文法を教えることは**不可能**



A:日本語

B:言語研究者が
説明できること

C:日本語教師が
説明できること

D:学生が教えられて
身に付けられる事

明示的文法教育の限界

全ての文法を教えることは**不可能**

Q.教師の文法に対するスタンスは
どうしたらいいのか？

触れたインプットからパターンを
抽出できる能力がある
直感力を身に付けさせる



明示的文法教育の限界

言語習得はインプットを大量に聞いて
理解することによって身につく
(その方法でし身につかない)

語彙

Q. 語彙は一単語だけで覚えていいのか？

図書館 = library



Q. 語彙は一単語だけで覚えていいのか？

A. 文法規則がわかる

B. 語彙を知っている

Q. AとBを自由に組み合わせれば、
話せるようになるのか？（1文が作れるのか）

語彙

文法と語彙：自由に組み合わせたのでは、
文は作れない
(話せるようにならない)

Q. どうして？

図書館 = library



文法と語彙：自由に組み合わせたのでは、
文は作れない
(話せるようにならない)

- 語と語の組み合わせは決まっている
- 様々な要素との組み合わせが決まっている
- 状況、人によって制約がある

語彙

Q. 文法と語彙を自由に組み合わせれば、
話せるよになるのか？

日本の高校生（3年生） vs 少数精鋭派

Q. 何に役立つのか？

図書館 = library



Q. 文法と語彙を自由に組み合わせれば、
話せるよになるのか？

日本の高校生（3年生） vs 少数精鋭派

知識としての語彙 vs 使える語彙

- 意識的に覚えた文法・語彙

コミュニケーションするときに、無意識に
使えるということとは大きく違う

テストは意識して考えられるので、できる。

- とある学生の考え方

言語学習は単語と文法だけで充分

(言葉は直訳できない)

第三の道

Q.「話せる」とはどういうことか？
(どんな能力が必要か)

第三の道

Q.「話せる」とはということか？

- (1) 文法能力 (音声・語彙・文法)
- (2) 談話能力 (1文以上をつなげる能力)
- (3) 社会言語学的能力
(社会的に「適切」な言語を使う能力)
- (4) 方略的能力
(問題が起こったときに処理する能力)

第三の道

Q.「話せる」とは
頭の中では何が起きているのか？

Q.「何と何と何」がわかっていればいいのか？

第三の道

話せるとは

「意味・機能・形式」を同時に処理できていること

例) 先生、この問題を教えていただけませんか。

Q.意味とは？

Q.機能とは？

Q.形式とは？

第三の道

話せるとは

「意味・機能・形式」を同時に処理できていること

オーディオリンガル コミュニカティブ

何を重視した教え方か？

意味：

機能：

形式：

第三の道

話せるとは

「意味・機能・形式」を同時に処理していくこと

意味重視： コミュニカティブ

機能重視： コミュニカティブ

形式重視： オーディオリンガル

第三の道

頭の中の処理の順番

①浅い「理解」から②「深い」理解へ

道順

①情報の意味を理解する



②形式を理解する

「大量のインプット」 → 「中間言語」 ↔ アウトプット

授業方法

まだ、「～ました（形）」を学んでいない学生
「きのう浅草寺に行きました」

↑

Q.意味は理解できるか？

「大量のインプット」 → 「中間言語」 ⇔ アウトプット

授業方法

まだ、「～ました（た形）」を学んでいない学生
「きのう浅草寺に行きました」



「きのう」で「行きました」は過去と
理解できている

Q. 文法説明はどうする？

行きます vs 行きました

みんなの日本語第4課

文型

2. わたしは毎朝6時に起きます

3. わたしはきのう勉強しました

導入項目 ～ます/～ました

動詞：起きます、起きました

寝ます、寝ました

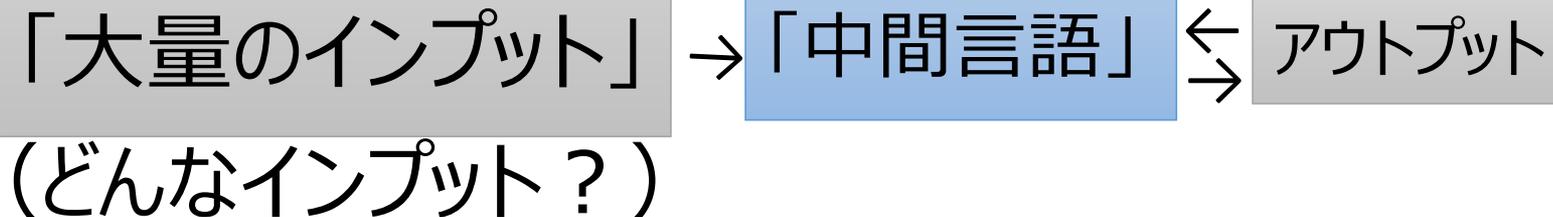
勉強します、勉強しました

Q.どう導入する？

導入方法

- 言語習得の順序

動詞：起きます、起きました
寝ます、寝ました
勉強します、勉強しました



みんなの日本語第4課

どう導入する？（ます形から？た形から？）

動詞：起きます、起きました

寝ます、寝ました

勉強します、勉強しました



導入方法

動詞：起きます、起きました
寝ます、寝ました
勉強します、勉強しました

「大量のインプット」 → 「中間言語」 ⇔ アウトプット

Q.どんな大量のインプット？

Q.キーワードは？

導入方法

動詞：起きます、起きました
寝ます、寝ました
勉強します、勉強しました

「大量のインプット」 → 「中間言語」 ⇔ アウトプット

Q.どんな大量のインプット：理解可能な

Q.キーワードは：意味交渉、相互対話

導入方法

動詞：寝ます、寝ました

きのう何時に寝ましたか？

インプット→気づき→インプット

問いかけ→可能な答え→問いかけ

← 理解可能な
インプット

インプット : カレンダー・時計・イラスト

会話：ペア練習、発表
インタビュー・自然な反応

導入方法

①教師：みなさんは昨日何時に寝ましたか？

②教師：トムさんは昨日何時に寝ましたか？

Q. どうしてこの順番？

Q. いつのタイミングで②？

導入方法

①教師：みなさんは昨日何時に寝ましたか？



全員が意味を理解した



②教師：トムさんは昨日何時に寝ましたか？

×強制アウトプット

導入方法

Q. 学生の頭の中はどうなっているのか？

まだ、「～ました（形）」を学んでいない学生
「きのう何時に寝ましたか」

↑

Q. 意味は理解できるか？

Q. 「寝ました」は？

導入方法

まだ、「～ました（形）」を学んでいない学生

「きのう何時に寝ました」



A. 「きのう」で意味は理解できる

A. 「寝ました」は頭の中でまだ、処理できていない
(まだ、重視すべきものなのか意識が向いていない)

第三の道

インプット



気づき



理解可能なインプット



意味の理解



言語形式の焦点化



アウトプット

大量なインプット

意味中心の中で、
言語形式を焦点化する

第三の道

インプット



意味の理解



言語形式の焦点化



アウトプット

大量なインプット

アウトプットするときにはじめて
「～ます」なのか「～ました」なのか
選択・判断する

第 19 課「みんなの日本語」

相撲をみたことがあります

- ①この文型を分析する
- ②どう導入するのか考える

①文型分析で押さえるべき 3 点

Q. 話せるとは？

「 A ・ B ・ C 」を

同時に処理できるということ

授業方法

相撲をみたことがあります

話せるとは

「意味・機能・形式」を同時に処理できていること

意味：どんな意味？

機能：どんな場面→考え方は？

形式：

授業方法

(例) おはようございます

どんな場面→ **5W1H + 制約**

When (いつ)

Where (どこで)

Who (誰が誰に)

What (「おはようございます」を)

How (どのように言うのか)

Why (それはどうして?)

授業方法

相撲をみたことがあります

話せるとは

「意味・機能・形式」を同時に処理できていること

意味：体験

機能：場面

形式：どんな形（文法）？

相撲をみたことがあります

意味：経験

機能：自分の体験を述べる、人の体験

形式：動詞た形 + ことがある

* 初めての「た形」

相撲をみたことがあります

意味：経験

機能：自分の体験を述べる、人の体験

形式：動詞た形 + ことがある

Q.その他のポイント（意味：体験）

体験とは？

相撲をみたことがあります

その他のポイント・体験とは？

Q.① 当たり前のことを体験と言えるのか？

相撲をみたことがあります

その他のポイント（意味・体験）

- ① 人に自分の体験を述べる時、
どんな体験なら述べる価値があるのか？
- ② 出来事が体験となるには
どのくらいの日にちが必要か？

Q.その他のポイントは？（形式）

相撲をみたことがあります

Q.その他のポイントは？（形式）

- ① 疑問の形で使うことが多い
- ② ほかの表現と組み合わせることは少ない
- ③ 見る、聞く、する（経験する）、行く、会う
使う、乗る

授業方法

相撲をみたことがあります

授業の組み立て方

Q.授業をするのに大切なポイントは？

授業方法

Q.授業をするのに大切なポイントは？

ゴールを明確にする

授業方法

Q.まず、何をするのか？

ゴール設定

Q.導入は？

文法説明ではなく、インプットから理解させる

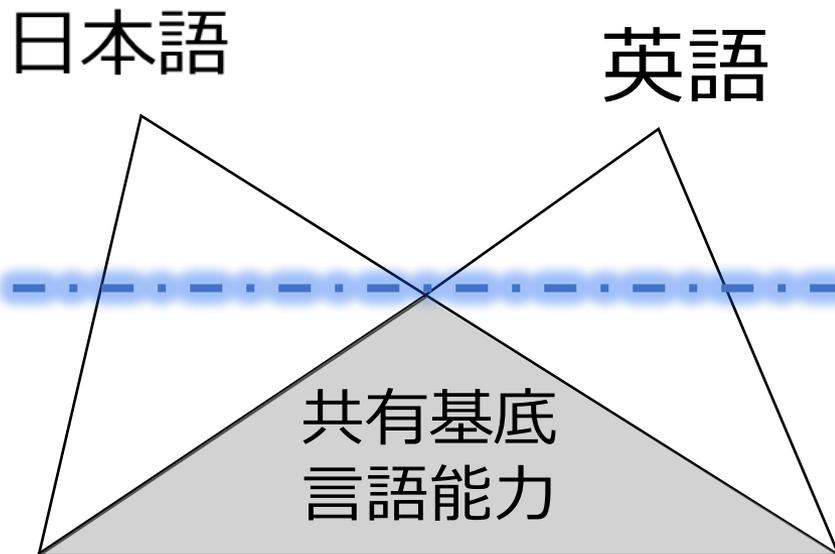
Q.どうするのか？

授業方法

文法説明ではなく、インプットから理解させる

Q.どうするのか？

既有知識の活性化



授業方法

- ① ゴール設定
- ② 既有知識を活性化させるには？

授業方法

- ① ゴール設定
- ② 既有知識の活性化
- ③ 学生のモチベーションを上げたい

Q.どうするのか？)

授業方法

「相撲をみたことがあります」

Q.この表現でできるようになることは？

- ・楽しくコミュニケーションがとれる
- ・自分が知りたいことで、相手にその体験があれば、情報がもらえる

Q.どう導入するのか？

授業方法

相撲をみたことがあります

Q.どう導入するのか？

「大量のインプット」 → 「中間言語」 ⇔ アウトプット

Q.どんな大量のインプット？

Q.キーワードは？

授業方法

相撲をみたことがあります

Q.どう導入するのか？

「大量のインプット」 → 「中間言語」 ⇔ アウトプット

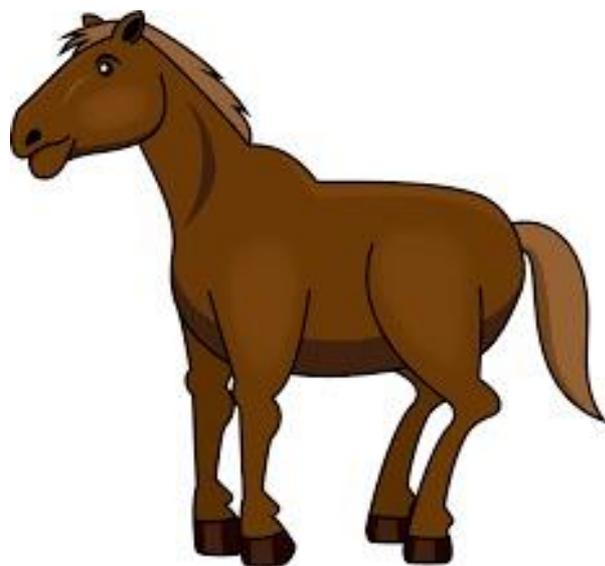
Q.どんな大量のインプット：理解可能な

Q.キーワードは：意味交渉、相互対話

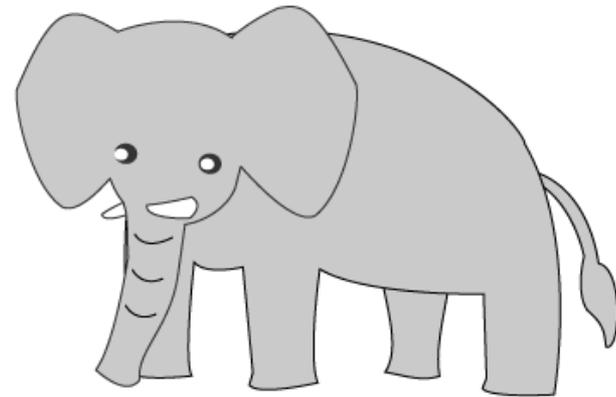
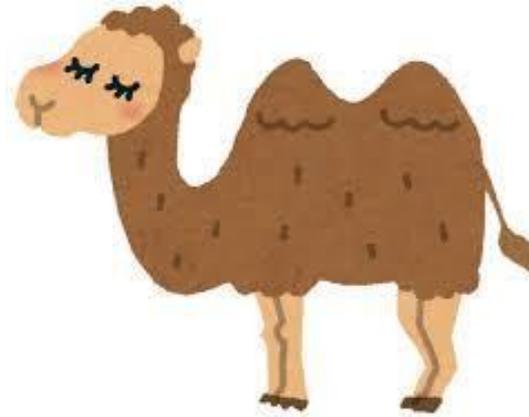
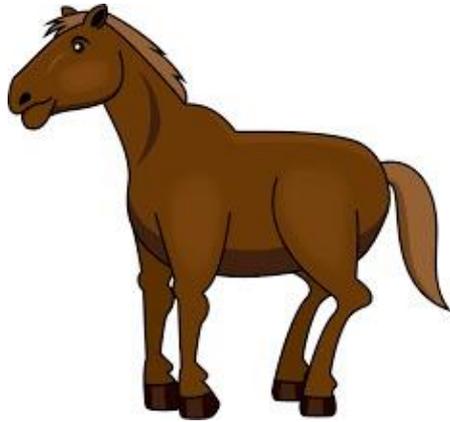
授業方法

- どう導入するのか考えてみよう
 - ・楽しくコミュニケーションがとれる
 - ・既有知識の活性化

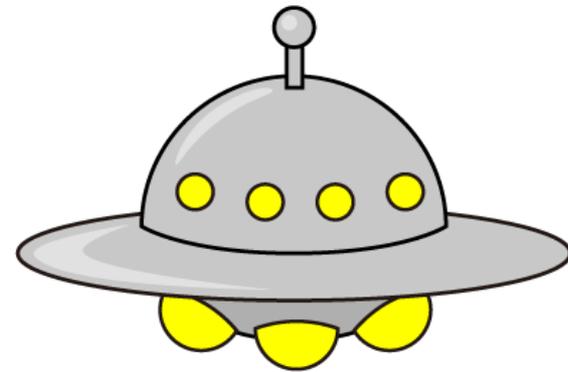
授業方法



授業方法



授業方法



授業方法



光岡オロチ



本田PUYO



日産PIVO



トヨタKIKAI

授業方法

授業ポイント

インプット 意味が分かるようになる



大量のインプットが必要



アウトプット 意味と形式とを
結び付けることができるようになる

インプットを繰り返すことで

- ① 意味がわかる
- ② 質問されたら、答えることができる
- ③ おぼろげながらも、
アウトプットに意識が向き始める

意味と形式を結び付けたアウトプットができるようになるための前段階の練習なので、複雑にしないことが大切。

第三の道

教えてもらったとおりの教授法で授業をしたのですが、うまくできません。

Q. どうしてだろう？ 原因は？

第三の道

教えてもらったとおりの教授法で授業をしたのですが、うまくできません。

Q. どうしてだろう？ 原因は？

既成概念

経験の縛り

学習スタイル

学生との関係

第三の道

教えてもらったとおりの教授法で授業をしたのですが、うまくできません。

徐々に耳からの学習になれてもらう

ありがとうございました

アンケート、
お願いいたします

仁子（にこ） 真裕美

ありがとうございました



令和1年10月24日
仁子（にこ）真裕美